



## 港区探訪



[&gt;&gt; パンクナンバー]

港区なのに港区じゃない！？

# 境界線のひみつを大調査

## 第3回（最終回）明治神宮外苑の不思議

住所は港区なのに施設名が他の区の地名だったり、敷地内に二つの区が混在していたり…。区と区の境界線のひみつに迫ります。



### 時代ごとに変化してきた明治天皇を祀る広大な敷地

神宮球場や神宮テニスクラブなどのスポーツ施設や聖徳記念絵画館などの文化施設を有する「明治神宮外苑」。

約27万平方メートルという広大な敷地は、都会のオアシスともいべき豊かな緑に囲まれています。外苑内には円状の道路が整備され、道路に沿うように作られた歩道はジョギングコースとしても人気があります。

「明治神宮外苑」は、明治神宮の境内の一部で、かつて、神社のある内苑（渋谷区）と外苑は馬車道でつながっていたそうです。

そもそも、明治神宮は明治天皇と昭憲皇太后を祀るために大正時代に作られた神社。まずはその歴史を探ってみましょう。

古地図を見てみると、江戸時代、この辺り一帯は広大な武家屋敷が立ち並ぶ地域でしたが、明治に入って版籍奉還が行われ、政府の所轄となり、やがて陸軍の青山練兵（れんぺい）場となります。

練兵場とはその名の通り、軍隊の訓練場。訓練のほかにも、大日本帝国憲法発布や日清戦争、日露戦争の観兵式をはじめ、たくさんの兵隊が戦地へ赴く前の式典などが行われていました。

その後、1912（明治45）年に明治天皇が崩御。「大喪の礼（葬儀）」が行われたのも、この地でした。

明治天皇の崩御を受け、御靈を祀りたいと国民からの要請が高まったため、天皇ゆかりの地である代々木に明治神宮が創建されました。

そして、未来を担う青少年の体力の向上、心身の鍛錬の場、文化芸術の普及の拠点として記念建造物や陸上競技場などを有する神宮外苑が造成され、1926（大正15）年に明治神宮に奉獻されました。

明治天皇や昭憲皇太后の在世中の事績を描いた大壁画は、聖徳記念絵画館に展示されていて、明治期の様子を垣間見ることができます。



ここが境界線！



外苑東通りの権田原交差点の北側に区の境界線があります。

### 昔の名残と今につながる美しきいちょう並木



さて、現在の「明治神宮外苑」の住所は新宿区ですが、敷地の一部には港区の箇所もあります。地図を見てみると、区と区の境はまっすぐではなく複雑な形をしています。

昭和初期の地図を見ても、赤坂区（現在の港区）、四谷区（現在の新宿区）は現在のように入り組んだ形をしていました。

この形状は江戸時代に立ち並んでいた武家屋敷の区切りに沿っているのではないかと考えられます。

港区側から「明治神宮外苑」に入る道は、いちょう並木が見どころ。新宿御苑のいちょうから採集した銀杏を内苑で育て、その苗を植えたものです。

植樹から90年ほど経った今でも、毎年11月になると美しく黄葉した姿を見せてくれます。

明治天皇がこの木の側で御観兵したことから御観兵櫓と名付けられています。

## 和洋折衷の「明治記念館」は結婚式場の先駆け

外苑東通りをはさんで東側にある「明治記念館」の本館は、1881（明治14）年に赤坂に仮御所を設けた際、会議所、饗宴場として使用される別殿として建てられました。

その後、明治天皇から伊藤博文に建物が下賜され、一旦移転しますが、「明治神宮外苑」の造営にあたって明治神宮に奉獻。再びこの地に移築されました。

当時は憲法記念館と呼ばれ、皇室関係の行事に使用されていましたが、1947（昭和22）年に「明治記念館」と名称を変え、明治神宮の結婚式場として一般にも利用されるようになりました。

現在では一般的ですが、挙式から披露宴、ヘアメイクや衣裳まで、トータルプロデュースする形式は、当時、画期的でした。

「明治記念館」は、本館のほか、新館、南新館、東新館、西新館と次々に増築され、現在の形になっています。

江戸時代の古地図では、この地は幕府の土地と武家屋敷が入り組んだ場所だったようです。そのため、区の境界線も入り組んでいるかもしれません。

現在の境界線は、1969（昭和44）年に増築された「未広の間」のある建物の下を通っています。



美しく整備された庭園から見ると、東側が港区、西側が新宿区です。



取材協力：明治神宮外苑、明治記念館 画像提供：明治神宮外苑 参考文献：『明治神宮外苑七十年誌』明治神宮外苑七十年誌編纂委員会編／明治神宮外苑、『よみがえる明治の東京』玉井哲雄編／角川書店、『新宿文化絵図』新宿区地域文化部文化国際課編／発行

[▲このページのトップへ](#)

| サイトマップ | みんなの声 | Kissポート財団について | 情報誌「Kissポート」について | 品質・環境への取り組み | 個人情報保護について[PDF] |

**Kissポート財団**

(公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団)

港区赤坂4-18-13赤坂コムニティーぶらざ

電話：03-5770-6837/Fax：03-5770-6884 お問い合わせ：fureai-info@kissport.or.jp

